

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 28 年度

市町村名	志木市			
提案事業名	おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクト			
事業期間	29 年度	～	29 年度	
事業の必要性、目的	<p>本市では、「みんなで進める健康寿命日本一のまちづくり」を目指し、様々な施策に取り組んでいるところ。一方で、現在、本市における国保医療費は、高血圧が関係する循環器系疾患が毎年上位を占めており、その原因は塩分過多によるところが多いとされています。また、塩分過多が引き起こす疾患は高血圧症だけでなく、脳血管疾患や糖尿病などの生活習慣病のほか胃がんのリスクも高めることも報告されています。</p> <p>そこで、「減塩」をキーワードにおいしく減塩！「減らソルト」プロジェクトと題して、市民団体や民間企業との連携も図りながら様々な事業に取り組み、医療費削減を目標にするとともに、市民の健康寿命の延伸を目指します。</p>			
成果指標	（成果を検証する指標） 減塩意識が向上した人の割合			
	（成果検証の具体的な方法） おいしく減塩！「減らソルト」フェスタ参加者にアンケートを実施する。			
	（上記の指標を設定した理由） 平成29年度はプロジェクトのスタートの年であることから、「減塩」の必要性を広く周知することが重要である。徹底した周知と市民一人ひとりの意識改革を行うことで、今後、計画的に展開していく事業の更なる効果が期待できる。			
	（成果の目標値）			
	現状値 (29年3月現在)	—	目標値 (29年11月時点)	70%
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページに掲載する。			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

平成29年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクト取組推進事業	ソフト 市民に「減塩」の必要性を広く周知するため、広報紙へのミニコラムの掲載やリーフレットの配布等、さまざまな広報媒体を駆使し、それぞれの特性に合わせた情報発信を行います。この事業は、市民団体や民間企業など産官民と連携を図りながら、継続的かつ地道な活動を展開します。	2,827
② おいしく減塩！「減らソルト」フェスタ	ソフト プロジェクトの一環として、シンポジウムや食育講座、ノルディックウォーキング・ポールウォーキング体験会などの、子どもから高齢者まで各世代が参加できるコンテンツを揃えた、「食」と「健康」と「運動」がテーマのフェアを開催します。	2,986
③ 減塩教育事業	ソフト 赤ちゃんから高齢者まで切れ目なく減塩意識の醸成を促進するため、公立保育園や市内小中学校における減塩給食の実施や、ババママ学級や離乳食教室での減塩教育を行うとともに、成人に対しても、出前健康講座や減塩教室などを開催します。加えて、推定摂取食塩量検査ハイリスク者に対応するなど、年齢や健康状態に合わせた減塩教育を展開します。	20
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		5,833

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	広報紙への掲載やリーフレット配布などの全市的な情報発信と、市内小中学校での減塩給食など個々の属性に合わせた減塩教育を連携させながら効果的に実施していく。
成果指標の達成見込み	上記方策により、赤ちゃんから高齢者まで切れ目のない推進を行うことで、十分達成できると考える。

(記入上の注意)

## 【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

## 【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に( )書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。